

学ぶことに挑み続ける子どもを育む鍛ほめプロジェクト 事業実施報告書																											
実行委員会名	学ぶことに挑み続ける子どもを育む鍛ほめプロジェクト 事業実施計画書																										
学校名	築上町立築城小学校																										
住所	〒 829-0105 築上郡築上町上別府305番地						電話番号		(0930)52-0010																		
							E-mail		tsuiki-es_cc@phebbio.jp																		
学校の取組名	目指せ自学の達人 → 学びのサイクルを身に付けよう!																										
実施期間	令和4年6月6日(月) ~ 令和5年3月11日(金)																										
対象学年 人数	①・中学校	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計													
		名	名	39	名	48	名	42	名	48	名	177	名														
活動区分と ねらい (重点的 なねらいを ○囲む。最大 でも2つ)	I「 確かな学力 」 II「健やかな体」 III「豊かな心」 IV「生活習慣の確立など」						A「 学ぶ意欲 」 B「自尊感情」 C「困難に立ち向かう心」 D「体力」																				
取組の概要	<p>「目指せ自学の達人」の取組において、月1回の築城っ子学習がんばりカードを活用し、スモールステップでの目標設定と振り返りを繰り返す活動や曜日によって自学内容を限定する活動を通して、自分の課題を捉えその課題を克服できるような自学を選んで自学を行い、確かな学力を身に付ける子どもを育む。【確かな学力】【学ぶ意欲】</p> <p>→ 「問い」を見い出し、解決する力を育む授業づくりを行う 次時への問いをもったふりかえり→予習→自分ごととして考える学習のサイクルの確立【確かな学力】【学ぶ意欲】</p>																										
	<p>I：目標設定の活動について</p> <p>【もたせたい目標】 ○始めの目標は、学年×10分を目安とした学習時間を設定し、学習についての目標を決める。次月からの目標は、前月のふりかえりから、やや困難な目標を設定する。</p> <p>【目標をもたせるための活動】 ○月に1回、1週間の築城っ子学習がんばりカードの実施。家庭学習の定着を図る。</p> <p>II：挑む活動について</p> <p>【自力解決するための子どもの活動】 ○1学期は、学年×10分を目安に、家庭学習の定着を図り、2学期からは、曜日によって基礎基本、予習、復習と内容を限定することにより自学の質を高める。3学期は、これまでの活動を生かし、自分の課題を見つめ直し、自分を高める自学を行う。</p> <p>【自力解決のために学校が行う具体的な支援】 ○築城っ子学習がんばりカードへのコメントや自学ノートの内容チェック ○学期末に1回、自学コンテストの実施 ○良い自学の校内掲示 【家庭や地域が行う具体的な支援】 ○家庭学習(宿題・自主学習)の取り組みについてねらいやはげましの声かけ等の周知 ○授業参観等で、掲示している自学への一言コメント</p> <p>III：振り返る活動について</p> <p>【振り返る内容】 ○学習時間や学習内容</p> <p>【振り返りの場】 ○月ごとの家庭学習の時間が分かる築城っ子学習がんばりカードの活用</p> <p>【評価の方法】 ○自学へのコメント、自学コンテストでの表彰、保護者からの一言コメント</p>																										
アンケート 結果	※学ぶことに挑み続ける子どもを育む鍛ほめアンケート結果を番号ごとに全体の平均値を記入する。																										
	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	平均点
	第1 回目	3.2	3.4	3.6	3.7	3.5	3.6	3.1	3	3.3	3.1	3.6	3.3	3.2	3	3.1	2.9	3	2.6	3.2	3.5	3.5	3.3	2.9	3.1	3.6	3.3
第2 回目	3.4	3.4	3.6	3.5	3.3	3.6	3.2	3.1	3.2	3	3.6	3.3	3.1	3.2	3.3	2.7	3.1	2.3	3.3	3.4	3.5	3.1	3	3.1	3.5	3.2	
成果(◇)と 課題(◆)	<p>◇1学期は、時間(学年×10分)2学期は内容を高めることを意識して取組めたので、家庭学習の定着がはかれた。1時間以上家庭学習している児童75.6%</p> <p>◇自学コンテストの表彰や、各学級に良い自学の見本を掲示、自分の苦手を意識したため立てる活動から、高学年を中心に自主学習の内容に高まりが見られた。</p> <p>◇1月24日に鍛ほめプロジェクトに関する職員研修を実施した。1年間の活動の振り返りと、来年度の方向性の話し合いを行い、取組を共有することができた。これまでのやられたる取組からやる取組への意識改革ができた。</p> <p>◇アンケート14、15では、本校の研究が学級活動ということもあり、学級での話し合い、取り組みに関してポイントが上がった。</p> <p>◆アンケート16「自分で、目標や計画を立てて勉強をしている」の項目が0.2ポイントダウンした。自学の宿題等をやらされていると感じている児童が多いと考える。自学の復習や予習を授業と連動させ「わかった」「できた」という実感を伴わせたい。</p> <p>◆2学期から4～6年生の築城っ子学習がんばりカードの記入にICTを活用した。集計結果などは、わかりやすいが画面のサイズの問題で、前月のふりかえりが見えにくい状況となった。また、端末入力にしたことで、担任の先生のチェックが疎かになっている。記入は紙で行ったほうが良いと感じた。</p> <p>◆家庭や地域が行う具体的な支援では、振り返る活動において、自学コンテストでの保護者からの一言コメントを計画していたが、実施することができなかった。</p> <p>◆家庭学習の定着が課題であったが、ある程度の定着は図れた。しかし、授業との連動という面では不十分である。来年度は、自主学習に予習学習を取り入れ、家庭学習と授業とを連動させていきたい。</p>																										